

議題(1) 半導体産業集積強化について

項目	現状(これまでの取組、課題等)
<p>(1) 半導体産業集積強化について</p>	<p>1 TSMCの熊本進出を踏まえた県・市の現状</p> <p>台湾の半導体製造大手TSMC(JASM)の熊本進出が決定し、新工場建設が進行中。県では、受入れを円滑に進めるとともに更なる半導体産業の集積を図るため、令和3年11月に全庁横断組織「半導体産業集積強化推進本部」及びPTを立ち上げ、人材育成や交通アクセスなどテーマごとに取組みを進めている。</p> <p>同様に、熊本市でも令和3年12月に「半導体関連産業集積推進本部」を立ち上げ、人材育成や交通アクセス向上に取り組むとともに、戦略的な土地利用についても独自に取り組んでいる。</p> <p>このような県市相互の取組みの中、特に重要な共通の課題として以下の3点が挙げられる。</p> <p>2 課題</p> <p>(1) 産業用地の不足</p> <p>TSMC進出を契機とした半導体関連企業の進出ニーズの高まりによりJASM周辺では工業団地が売り切れ、土地が不足する状況となっており、新たな半導体関連企業の受け皿となる土地の確保が必要。</p> <p>(2) 外国人向け生活支援</p> <p>令和5年夏にはTSMC台湾から多くの駐在員が家族とともに来熊を予定されており、言語や生活習慣の異なる外国人の方々が支障なく生活できるよう一層の取組みが必要。</p> <p>(3) 地下水保全対策</p> <p>JASMが公表された地下水取水量を超える地下水かん養の着実な実現。</p> <p>3 現在の取組み状況</p> <p>(1) 産業用地の早期整備</p> <p>県では、合志市及び菊池市における工業団地の新規整備を計画するとともに、企業立地促進と農業の振興の両立を図るための「半導体拠点推進調整会議」を令和4年12月に発足させた。</p> <p>市では、令和4年12月には産業用地整備方針を作成し新たな産業用地20ヘクタールを確保する方針を公表し、令和5年3月中には民間活力を活用した産業用地整備に向けた事業提案を公募することとしている。</p> <p>県は市との情報交換を通じて、整備ノウハウ等の提供を行っているところ。</p> <p>(2) 外国人向け生活支援</p> <p>令和4年12月に県で新たに立ち上げた生活サポート部会に、熊本市をはじめ周辺市町村が参加。今後、企業の要望や各自治体の取組みを共有し、相互推進を図っていくこととした。令和5年2月、「TSMC進出効果の波及に向けた意見交換」を実施。課題等の認識を共有した。</p> <p>市では、令和4年12月にJASMや周辺に進出する半導体関連企業の従業員の住宅用地として、市営楠団地に隣接する市有地約5300平方メートルを民間に売却した。</p> <p>(3) 地下水保全対策</p> <p>JASMが表明している地下水採取量の100%を超える地下水かん養量を確保できるように、水田湛水期間の延長や冬期湛水面積の拡大等について、県、市、菊陽町、大津町、くまもと地下水財団及び地元土地改良区等と協議を重ねている。</p>

議題(2) 国際スポーツ大会に係る連携強化について

項目	現状(これまでの取組、課題等)
<p>(2) 国際スポーツ大会に係る連携強化について</p>	<p>1 現状 令和元年(2019年)に開催された「女子ハンドボール世界選手権大会」「ラグビーワールドカップ」の2つの国際大会は、県・市が一体となって取り組んだ結果、多くの観客が会場を訪れ、98.5億円と106.7億円の経済効果を生み出すなど、大きな成功を収めた。 令和5年(2023年)には県内で多くの国際スポーツ大会を実施することが決定している。 【令和5年(2023年)に実施される大会】 (1) ラグビー日本代表国際試合(7月15日/えがお健康スタジアム) (2) 世界マスターズ水泳選手権2023九州大会(8月2日~11日/アクアドームくまもと) (3) 国際サイクルレース「ツール・ド・九州2023」(10月8日/阿蘇地域) (4) 国際バドミントン大会「熊本マスターズジャパン」(11月14日~19日/県立総合体育館) ※R5~R8の4年間継続開催</p> <p>2 課題 新型コロナウイルス感染症の新規感染者数の減少等に伴い海外からの観光客が回復傾向にあり、さらにはTSMC進出に伴い台湾との交流が活性化中、県全体に波及効果をもたらすために、以下の項目などに対して県・市が連携して取り組んでいく必要がある。 ○ 機運醸成と選手・観光客の円滑な受入れ体制の構築(輸送・宿泊・多言語対応など) ○ 中心市街地・観光地等への誘客促進 ○ 今後の大会等誘致に向けた県・市連携の取組み</p> <p>3 現在までの取組み状況 (1) ラグビー日本代表国際試合 ○ 県ラグビー協会を中心とした誘致活動を、県・市が連携して支援。令和5年2月24日に開催が正式決定した。観戦者約2万人を目標に準備を進めている。 (2) 世界マスターズ水泳選手権2023九州大会 ○ 大会認知度向上と気運醸成に向けた取り組みを進めながら、参加者の輸送・宿泊や会場運営などについて関係各所と協議を行ってきた。 (3) 国際サイクルレース「ツール・ド・九州2023」 ○ ツール・ド・九州(福岡~熊本~大分)の開催にあわせ、サイクリング周遊型旅行商品「ディスカバー九州」を造成した。(熊本市が含まれるコースも複数造成) (4) 国際バドミントン大会「熊本マスターズジャパン」 ○ 令和4年6月21日に、知事・市長が参加のもと、開催決定報告会を実施。同年10月には、知事・市長が名誉会長を務める推進協議会を設立し、経済界・スポーツ界・行政が一体となり機運醸成を行う体制を整備した。観戦者数約1万7千人を目標に準備を進めている。</p>